

2006年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(学部・研究留学生)

日本語 (C)

**注意** 試験時間は60分。

答えは全て解答用紙に記入すること。

日本語(C)

Nationality		No.		Marks
Name	(Please print full name, underlining family name)			

( )に入る最も適当なものを、A～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- 1 船旅は退屈するかと思っていたが、( )に楽しく時間が過ごせた。  
A 矛盾            B 反意            C 意外            D 不覚
- 2 ( )にやったわけではなくても、あのような失敗は許されない。  
A 故意            B 任意            C 意志            D 意図
- 3 数年前に兄のパソコンをちょっとさわったのが( )で、今では仕事にまでなってしまった。  
A 手がかり      B きっかけ      C 誘因            D 機会
- 4 買ったばかりのテレビが2台とも調子が悪くて、メーカーに( )をつけた。  
A クレーム      B トラブル      C トレード      D リコール
- 5 小原先生はもうこの学校で30年も教えているんだって。さすがに( )だね。教え方が本当に上手だよ。  
A アマチュア    B セミプロ      C タレント      D ベテラン
- 6 有名な先生と知ってからは緊張のあまり、一言のあいさつ( )できなかった。  
A こそ            B さえ            C くらい          D なんか

7 新聞には今年のナンバーワンの映画だと書いてあったが、映画館は( )  
だった。

A からから B がらがら C ぼつぼつ D ぼつぼつ

8 一生懸命に取り組んでいる様子が( )と感じられた。

A はらはら B ひしひし C わくわく D もりもり

9 水を( )にしないようにね。

A 出しっぱなし B 出しつづけ

C 出しながし D 出しかけ

10 ( )お力落としのことと存じます。

A さぞ B たぶん C たしか D だんじて

( )に入る漢字一字をA～Mの中から選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

A 首 B 善 C 頭 D 白 E 赤 F 愛 G 目

H 笑 I 石 J 幸 K 虫 L 人 M 血

例：( )を長くして待つ。

1 ( )の他人

2 ( )の回る忙しさ

3 ( )も涙もない冷酷な人

4 ( )の上にも3年

5 ( )が好かない

6 ( )は急げ

下線部\_\_\_\_\_に入る最も適当なものを、A～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- 1 A : すみません。きのう先生に\_\_\_\_\_本をうちに忘れてきてしまったんです。  
B : じゃ、あした必ず持ってきてね。  
A 借りられた                      B お借りになった  
C お借りくださった              D お借りした
- 2 A : もっと食べなさいよ。  
B : いや、もうおなかがいっぱいで、これ以上\_\_\_\_\_よ。  
A いれない                      B いれられない  
C はいらない                      D はいられない
- 3 A : 試験、うまくいくと良いね。  
B : うん、やる\_\_\_\_\_ことはすべてやったから、あとは結果を待つのみだ。  
A だけの              B ほどの              C はずの              D までの
- 4 A : 仲の良さそうな恋人同士を見ると、彼との楽しかったときを\_\_\_\_\_いられないの。  
B : 可愛いそうに。まだ、立ち直れないでいるのね。  
A 思い出しては                      B 思い出さずには  
C 忘れては                      D 忘れずには
- 5 A : 試合はいかがでしたか。  
B : どうにか初戦は勝った\_\_\_\_\_、残念ながら残りの試合は全敗という結果に終わりました。  
A ものか              B ものが              C もので              D ものの

6 A : 収支決算はどうなっているんですか。

B : はじめの見積もりが甘かった\_\_\_\_\_大赤字を出してしまいました。申しわけありません。

A うえで      B せいで      C くらいで      D しないで

(      )に適切なひらがな一字を入れなさい。

例：メートルとは、長(      )の単位のことです。

1 小学校の先生がのんびりしている息子のことを「オアシス(①      )ようだ」と言ってくれた。うれしかったの(②      )、帰宅して息子に言うと「オアシスって何?」と聞かれた。「砂漠に水(③      )わき出て、動物や人や、みんなが集(④      )るところよ」と説明すると、「僕は水飲み場なのか」とつまらなさそう(⑤      )顔をした。

2 「ひきこもり」など周囲(⑥      )のコミュニケーションが上手くとれない若者と、「ケータイ」(携帯電話)でいつも他人とつながりたが(⑦      )若者、両者は正反対(⑧      )見えるが、成熟した大人になること(⑨      )拒否する点において共通している。これは、「子供中心主義」の家庭で育った結果と言(⑩      )る。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

- 1 いくつかの紙コップにマジックで「おいしい湧<sup>わ</sup>き水」「下水」「おしっこ」などと書いて、目の前で同じ水を入れたところ、おしっこや下水といった言葉が書かれたコップのときはかなり抵抗感を表し、ほとんど飲めなかったという実験があった。言葉は、書かれたとたんに全く違う（ ）を本体にまとわせることができるのである。

問い ( )に入るもっとも適当な言葉はどれか。

- A 推定            B 現実            C シンボル        D イメージ

- 2 「風邪に効く薬はない」と言われる。確かにそれを飲むとピタリと風邪が治る薬などはないだろう。それなら風邪をひいても医者に行く必要はないというのは即断である。自分で勝手に風邪だと思っ<sup>て</sup>いてもそうではないかもしれない。あるいは風邪をこじらせて肺炎になるかもしれない。医者に行って、「風邪ですから心配いりません」と言われて（ ）。

問い ( )に入るもっとも適当な言葉はどれか。

- A 医者に行ったことを後悔するのである。  
B 薬は飲まないほうがいいのである。  
C さらに詳しく調べていくのである。  
D すこし安心すればいいのである。

- 3 「理解する」とはどういうことだろうか。人は多くの場合、過去の経験から類推して物事を考えていく。そのため類推しやすいような説明をすると、相手に理解してもらえらる。ある辞書には「理解する」の意味を「物事に接して、それが何であるかを正しく判断すること」と書いてあった。しかし、はたしてはじめて接したのに対して正しい判断ができるのだろうか。そこで、私は「理解する」とは「こちらが理解してもらいたいと思っている情報と、相手が有している過去の知識とが結びつくこと」と定義したい。

問い 著者の意見と異なるものはどれか。

- A ある物事が正しくなくても理解することはできる。  
B 辞書の定義と著者の定義を合わせるとさらに良いものになる。  
C 過去の経験を上手に取り入れた説明が、理解させる上で重要である。  
D 正しく判断するためには、過去の経験が必要である。
- 4 子ども時代の人間関係と青年期の人間関係には、根本的なちがいがある。それは第一に、子ども時代の人間関係が、( ① )的なことで作られた関係であるのに対して、青年期の人間関係は、彼ら自身が選択して作ってゆくものである。もちろん、青年期の人間関係でも、親とのかかわり、担任教師との関係、近所づきあいなど、こちらから選んだわけではない、( ② )的なものもある。しかし、青年期の人間関係の中で重要な柱となる、友人とのかかわり、親友との交流、異性とのかかわりや恋愛などは、青年自身の意志と選択が決定的な役割をはたすという意味で、( ③ )的なかかわりである。

問い ( )に入る適当な言葉を下のA～Dの組み合わせから選りなさい。

- A ① 偶然 ② 運命 ③ 主体  
B ① 必然 ② 選択 ③ 積極  
C ① 意識 ② 意図 ③ 健康  
D ① 恒常 ② 精神 ③ 情熱

次の文章を読んで、あとの問い1～問い6に答えなさい。

元来、私たちの言葉は、他人に何ごとかを伝えるために生まれたもので、私たちの考え方もこれに従って、他の人びとに伝えることができるような形で考えられています。ですから、他人に分かってもらえるような言葉で言い表わせないような思想というものがあるとすれば、それはまた、他人に分かってもらえない思想でもあります。つまり、そのような考えは、他人につうようする言葉のいろいろな使い方<sup>1</sup>に従って整理されていない、いわば、生まれ出るよかんだけはあるけれども、。

ところで、他人に伝えようとするあることがらが、うまく完全に他人に伝わるためには、これだけは、どうしてもなくてはならないというげんかい<sup>3</sup>があって、それ以下になると、伝わらなくなります。私たちの言語では、たとえば、私が皆さんに「日本人は」と言っただけで、あと何も言わなかったならば、私がこれから日本人について、何か言おうとするのだなということだけは分かりますが、日本人について何を言おうとするのか分からないでしょう。皆さんは、私から完全な情報を聞こうとして、私の次の言葉を待つはずです。もし私が、次に何も言わなかったら、私は完全な一つの情報をあたえなかったことになり、皆さんは、私から情報を受けとらなかったことになりましょう。

また、戦争のさなかに敵のようす<sup>4</sup>を探して帰って来た兵士が、上官の前で「敵は」と言っただけで、途中で受けた傷のために死んでしまったとしたら、上官はなんの情報も受け取らなかったことになります。「敵は退却しつつあり。」とか「敵はわが後方にまわりつつあり。」などという文の形で言われたとき、はじめて一つの情報が得られるのです。

「敵は退却しつつある。そしてわが軍が攻撃するならば、敵は戦車で防ぐか、あるいは飛行機でわが軍を爆撃するだろう。」というような情報は、一つ一つのちがった情報が組み合わさってできた、もっと複雑な情報と考えられます。

このような意味で、「モミジは赤い。」とか「犬が走る。」といった、主語と述語からなる一つの文で表わされた判断または命題を、私たちのもっている一番簡単な知識と私はよびます。知識と言うと、なにか複雑なものを考えやすいとすれば、一番簡単な言い方とか考え方といったほうが良いかもしれません。これは、一番簡単であると同時に、これ以上こまかく<sup>5</sup>分けてしまうと、一つの情報になりませんから、その意味で、



これ以上小さくならない、一番はじめの出発点になるような、大事なものだとも言えます。

ここでまた、頭の良い皆さんは「だって、一つの単語だけで立派に情報が分かる場合がたくさんあるじゃないか。『百円』という札だけで、その品が百円だと分かるし、ある店に『うどん』という語の書かれた看板がさがっていれば、それだけで分かるじゃないか。『火事!!』と叫べば、それだけで十分じゃないかしら。」と考えるでしょう。もっともなことです。これは「百円」と書いた札を何かにはりつけるとか、そばに置くということが、「これは」とか「ここにあるものは」という主語のかわりをしてい  
るのです。「うどん」という看板は、それがかかっているところに、うどんが「あります。」ということを表わしていますから、一定の場所にかかげるということが「ここにあり」という[ b ]としてのやくめを果たしている訳です。もし太郎さんが、金物屋さんのバケツについていた「百円」という札をもぎとって、前を歩いているお母さんの背中に、こっそりはりつけたら大変です。また「うどん」の看板をこっそりとはずして、お隣の本屋さんの店先にぶらさげても、  。

「火事!!」というさけびも、窓の外をゆびさしながら、驚いたり、緊張したような顔つきで発音されたときだけ「あそこに火事がある。」というような文章の形での一つの情報となるので、あくびをしながら呑気な声で「火事」と言ったのでは、 。

いま挙げたこのような例は、たしかに文章の形でなくて、一つの話と形で言われていますが、書かれた語をはりつけるとかさげる、あるいは、言葉を言うときの顔つきや身体の動作などを文章で書けば、主語や述語になる部分のやくめをしているのですから、やはり、  。

問い1 下線部1～10のひらがなを漢字で解答用紙に書きなさい。

- |   |             |    |              |   |             |   |            |
|---|-------------|----|--------------|---|-------------|---|------------|
| 1 | <u>つうよう</u> | 2  | <u>よかん</u>   | 3 | <u>げんかい</u> | 4 | <u>ようす</u> |
| 5 | <u>こまかく</u> | 6  | <u>はりつける</u> | 7 | <u>かわり</u>  | 8 | <u>やくめ</u> |
| 9 | <u>はずして</u> | 10 | <u>さけび</u>   |   |             |   |            |

問い2 空欄  ~  に入る最も適当な文を下のA~Fの中から選んで、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A 大事なものをすべて失うことになるでしょう
- B 一つの判断または命題とみていいでしょう
- C どんな人でも緊張することになるでしょう
- D 何のことなのか分からないでしょう
- E とんでもないことになるでしょう
- F まだ生まれていない考えといえるでしょう

問い3 下線部 a の「他人に伝えようとするあることがら」を筆者は本文中で言い換えています。それは何ですか。最も適当なものを A ~ E の中から選んで、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A 文章
- B 言い方
- C 動作
- D 看板
- E 情報

問い4 [ b ] に入る適当な言葉とは何か。本文中にある漢字 2 字の言葉で答えなさい。

問い5 下線部 c で「前を歩いているお母さんの背中に、こっそりはりつけたら大変です」と筆者は述べていますが、どうして大変なのですか。理由として適当なものを A ~ D から一つ選んで、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A お母さんが「金物屋」になってしまうから。
- B お母さんが「バケツ」になってしまうから。
- C お母さんが「看板」になってしまうから。
- D お母さんが「百円」になってしまうから。

問い6 本文と内容が一致するものを A ~ D から一つ選んで、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A 「日本人は」というように主語の部分だけで話すことをやめても、伝えようとする内容は十分に理解できる。
- B 状況判断のために必要な知識が足りないときは、本人には分かりやすい考え方であっても理解されなくなる。

- C 単語だけで情報伝達されているように見えても、主語や述語にかわる機能がどこかに隠されている。
- D どんなに簡単な考え方でも、完全な文章の形を取らなければ、他人に伝えることができない。